

高知県商工団体連合会 NO.1006(53-33)
〒780-8035 高知市河ノ瀬町33
TEL088-832-4838 FAX088-832-3126
Eメール kosityoren@citrus.ocn.ne.jp
ホームページ http://kosityoren.web.fc2.com/
このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

「重要な制度を知らせよう」と拡大・宣伝行動

■2022年 全商連総会めざす仲間増やし

5/15 現在	拡大					成果 会員
	読者	会員	共済	婦人	青年	
安芸	0	0	0	0	0	0
香美郡	8	1	1	0	0	5
南国	8	1	2	0	0	3
高知	14	8	2	0	0	8
仁淀川	1	0	0	0	0	0
須崎	1	1	0	0	0	0
中村	0	0	1	0	0	0
計	32	11	6	0	0	16

成果会員：読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

全商連総会に向けて 拡大・宣伝に奮起

香美郡民商は連休最終日の5月8日、拡大・宣伝行動に取り組み、午前の部に6人、午後の部に8人が参加しました。

拡大行動ではまず、加藤拡大推進委員長が元読者に声を掛け、購読約束を得て、行動に勢いを付けました。続いて山崎会長が読者1人を拡大。片岡さん、森永さんの両事務局長も、友だちに声を掛けて、それぞれ読者1人の拡大成果を上げました。午後の部では、加藤拡大推進委員長が更に、もう1人読者を拡大。共済会は、竹内理事長と森永専務理事が会員訪問を行い、配偶者の加入を得て、連続拡大を継続しました。こうした奮闘で、この日の拡大成果は、読者5人に、共済加入者1人。参加できなかった役員に「仲間を増やして」と、協力も呼び掛けました。翌日、畠山副会長から、読者を1人増やしたと、拡大成果の追加報告も寄せられました。

野党が市民連合「要望書」を確認

5月9日、立憲民主党、日本共産党、社民党、参院会派「沖縄の風」、同「碧水会」の各代表が、市民連合の「政策要望書」を確認しました。

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合(市民連合)の「2022年参議院選挙における野党に対する市民連合の政策要望書」<概要>

参院選はロシアによるウクライナ侵略という激動の中で「戦後日本の進路」が問われていると強調。市民連合は野党各党と立憲主義回復と安保法制廃止を求めて4回の国政選挙をたたかっていると、野党に「今こそ憲法が指し示す平和主義、立憲主義、民主主義を守り、育むために、以下の政策を共有し、1人区において最大限の協力を行うよう要望」しています。

1、平和国家路線の堅持と発展では、「専守防衛に基づく安全保障政策を着実に進め、非核三原則を堅持し、憲法9条の改悪、集団的自衛権の行使を許さない。辺野古新基地建設は中止することなどを求めています。

2、暮らしと命を守るための政策の拡充では、「新型コロナウイルスの教訓を踏まえて医療政策の再建を行う」ことや「金融所得課税を始めとする税、社会保障料負担の適正化によって社会保障、社会福祉の拡充を進めることなどを掲げています。

3、気候変動対策とエネルギー転換の推進では、「原発にも化石燃料にも頼らないエネルギーへの転換を進め、脱炭素社会を早期に実現することなどを要望。

4、平等と人権保障の徹底では「選択的夫婦別姓制度などの法制度整備を急ぐ」とともに、「女性に加えて、LGBTQ、外国人、障がい者などに対するあらゆる差別を廃絶」することなどを掲げています。

無料法律相談会

(近藤恭典弁護士/高知法律事務所)

5月26日(木)午後1時~3時

会場：高知民商会館3階会議室

- リモートでの相談もできます。
- 民商事務局に事前申し込み下さい。
- 1組の相談時間は30分を予定。

並行して、消費税インボイスの害悪を知らせ、事業復活支援金の申請を呼び掛ける宣伝行動も実施。山崎会長と濱田副会長がマイクを握り、町に訴えを広げました。理事会で「最近、宣伝をやつてない」「業者にとって重要な制度を知らせよう」と話し合っており、大型連休の最終日に取り組みたい方も多く、少しくても多くの方に、情報を届けていきたい考えです。

(5/16 香美郡民商会報)

参院選はマツケンでいこう

5/15高知民報より転載



谷田道子四万十市議と街頭から訴え

マツケン 舞台挨拶

参院高知・徳島選挙区予定候補 **松本 顕治**

「どうやったら自信がきますか」。

幡多地域のキャラバン終盤、土佐清水市の演説場で、ちょうど下校時間と重なったのか、子どもの列。演説が終わると、地元の前田晃・市議が「あの子が聞きたいことがある」と小学生の一人を指しました。

幡多路

冒頭の疑問。なかなか難しい質問です。本を読んでみたら？ など何やら答えましたが、どうだったのだろうと思いつつ、車に乗り次の演説場所へと向かいました。運転を任せてくれた大西友亮・四万十市議に話すと「どうして自信がないのか、聞いてみたかったですね」。

なるほど、そうだと遅ればせながら気がつかれました。

あの子はどう思ったんだろう。なんで自信がないと思っただろう。一期一会で名前もわかりませんが、自分

その自然の美しさと同時に地域が抱える課題は深刻です。特に人口減少については、日々失われていく地域の活気に対して、多くの人が心を痛めている姿にも出会いました。

自分たちの地域に自信を持ってPRを言われませんが、これは地域の自己責任ではなく、構造的な問題だと改めて思います。

なり答えを見つけてほしいと願っています。

幡多のキャラバンは4月に当選した四万十市議の皆さん、元県議の岡本和也さんたちと一緒に回りました。大月町では30人が聞きに来てくれました。竜串の海岸線や大岐の浜など、本当に美しい景色に乗員一同、ため息が